

■案内図・配置図



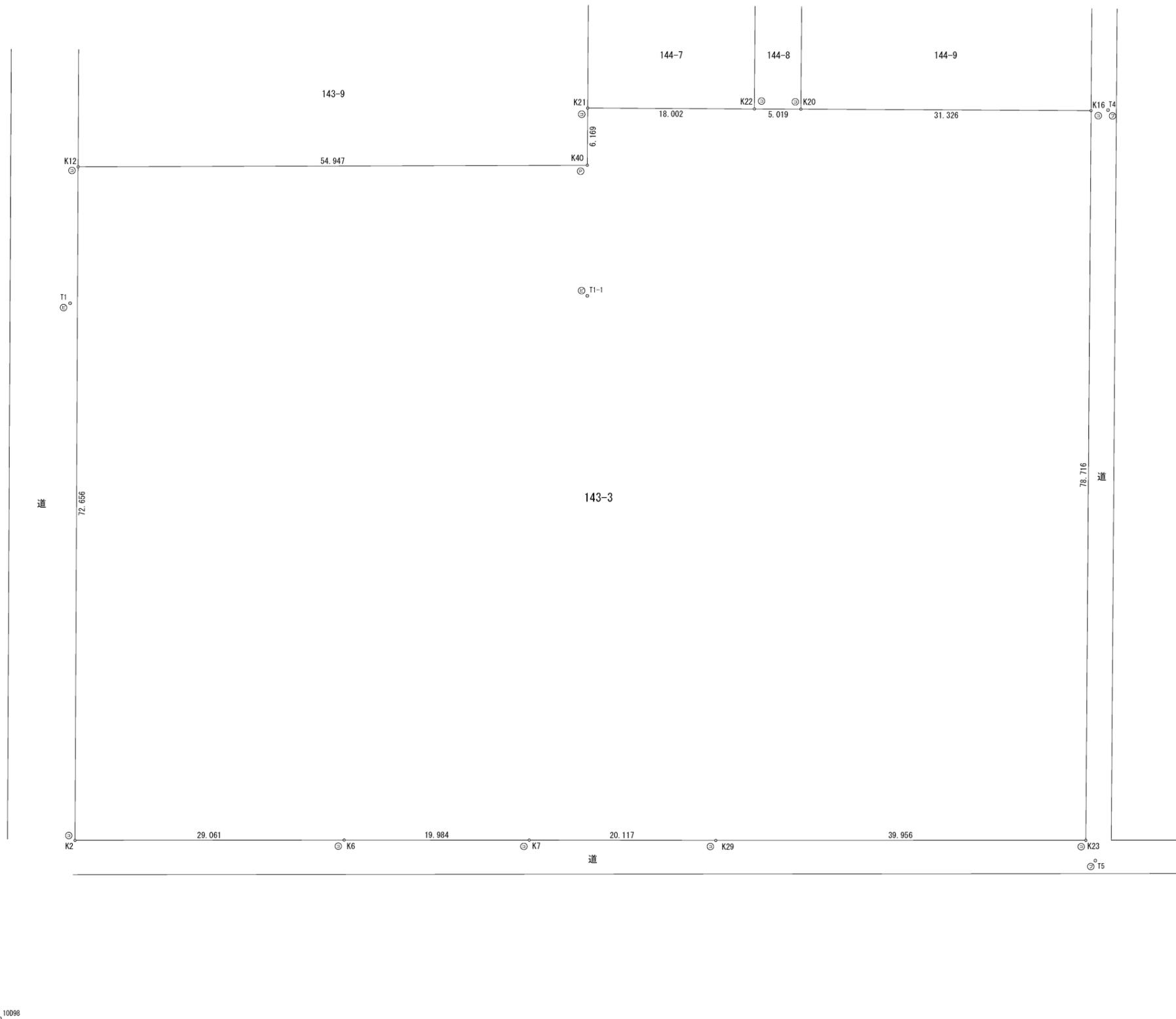
計画地位置図

■主要自動車・歩行者動線図（広域）



境界点網図 S=1:250(1:500)

【資料2】



求積表

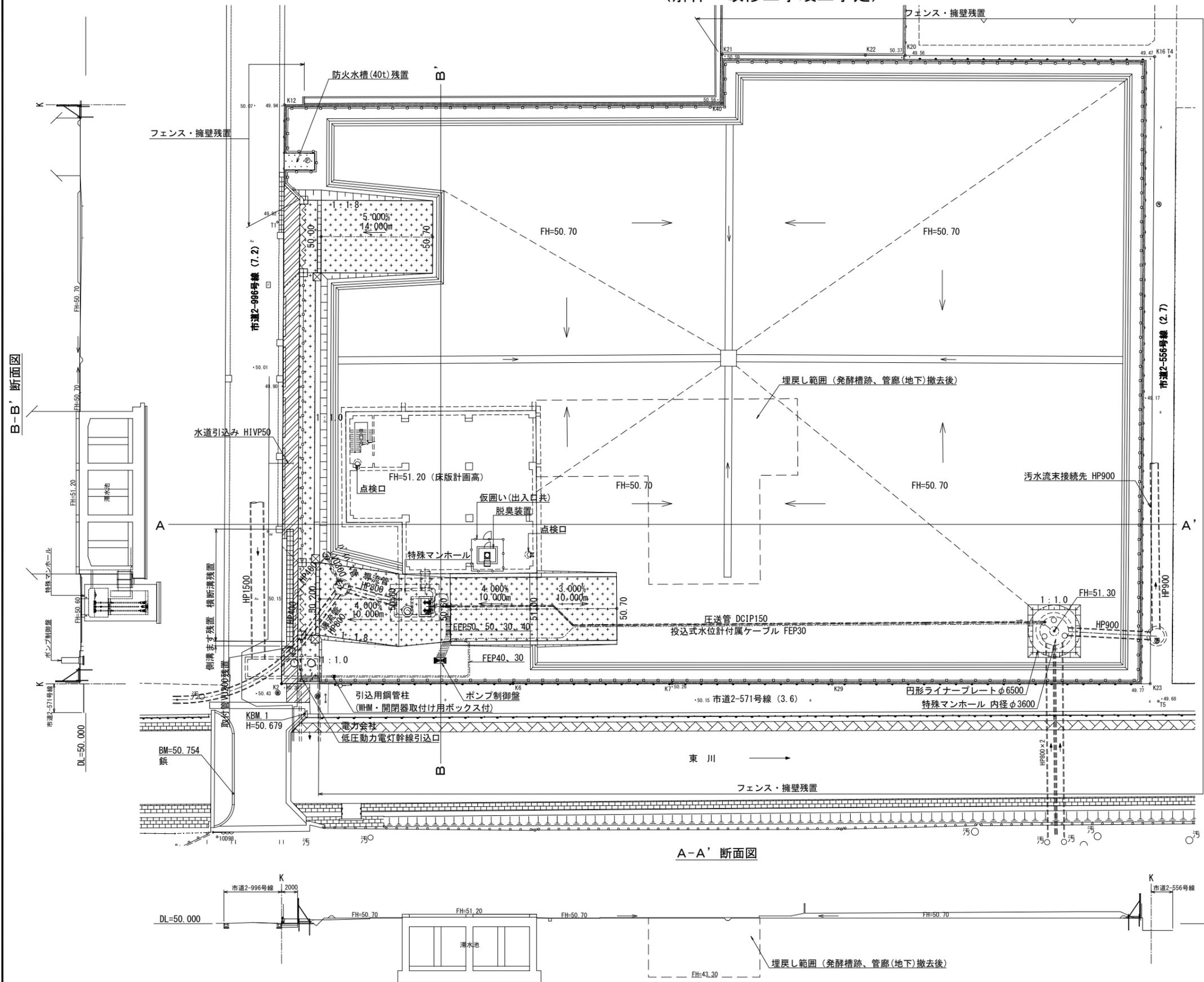
地番	1 143-3				
NO	Xn	Yn	Yn+1-Yn-1	Xn · (Yn+1-Yn-1)	
K2	-22510.004	-29819.923	77.801	-1751300.821204	
K6	-22483.993	-29806.963	21.900	-492399.446700	
K7	-22466.120	-29798.023	17.960	-403491.515200	
K29	-22448.139	-29789.003	26.870	-603181.494930	
K23	-22412.392	-29771.153	-52.314	1172481.875088	
K16	-22376.710	-29841.317	-84.307	1886513.289970	
K20	-22404.662	-29855.460	-16.408	367615.694096	
K22	-22409.141	-29857.725	-10.398	233010.248118	
K21	-22425.201	-29865.858	-2.632	59023.129032	
K40	-22427.994	-29860.357	-18.906	424023.654564	
K12	-22477.223	-29884.764	40.434	-908844.034782	
			合計	-16549.421948	
			合計面積	8274.7109740	
			地積	8274.71	m ²

点名	X座標	Y座標
10D98	-22525.837	-29806.362
T1	-22484.574	-29871.993
T4	-22375.042	-29840.550
T5	-22412.455	-29768.735
T1-1	-22434.284	-29847.765

境界点	境界線の種類
⊙	コンクリート杭
⊖	プレート
⊕	鉄
⊗	プラスチック杭
⊘	金属標

単位：メートル
 整理番号：S16-016
 作成日：平成28年12月22日

整地平面図 S=1:250 (1:500)
(解体・改修工事竣工予定)



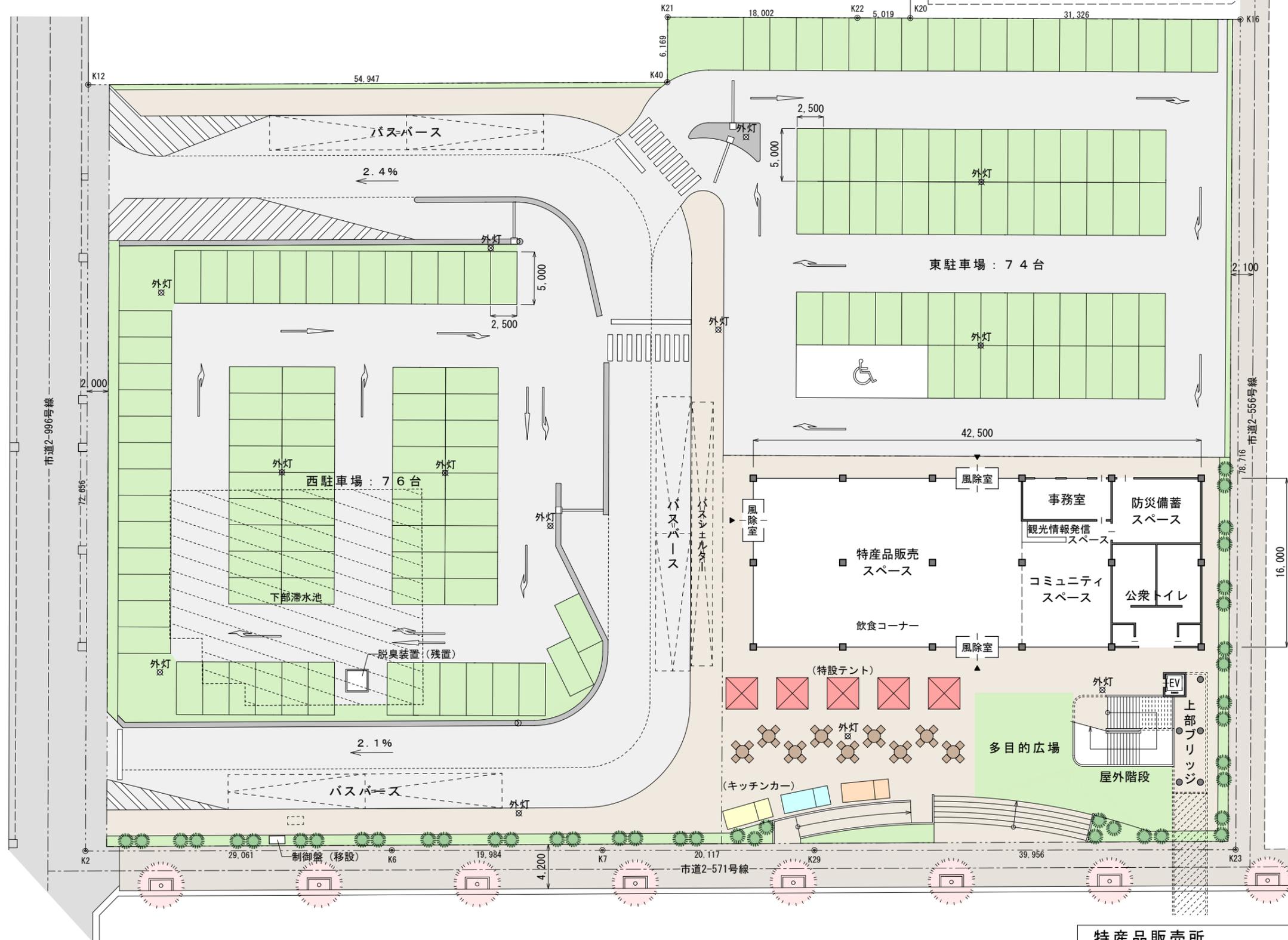
凡例

記号	名称	規格	備考
○	敷地境界		
FH=50.70	計画高		
□	法面	切土: 1:1.0 盛土: 1:1.8	
—	防災小堤	BK W=900, h=300	
—	素掘側溝	SS-10 W=700	
—	素掘側溝	SS-30 W=900	
—	横断側溝	250×250	
⊠	浸透板柵樹A	W1.0×L1.0×H1.0	
□	浸透板柵樹B	W2.0×L2.0×H1.5	
●	砕石舗装	下層路盤: 単粒度砕石4号 t=10cm	
▨	仮設アスファルト舗装	基層: 再生粗粒As t=7cm 上層路盤: RM-40 t=20cm 下層路盤: RC-40 t=25cm	
□	パネルゲート	W=9000	
—	仮囲い	H=3000	
—	H鋼ガードレール	L=5000	
—	下水道管・圧送管	合流改善施設、伏せ越し施設	
—	水道管		
—	電気・通信管	合流改善施設 (ポンプ制御系統)	

※ KBM. 1、2は、「合流改善松郷導流管布設工事」「合流改善松郷滞水池築造工事」の水準基準高さ BM=50.754 (鉄) を基準とする。

旧コンポストセンター跡地利活用基本計画平面図（案） S=1/400

【資料4】



駐車台数：150台（西：76台、東：74台）

建物面積：692.0㎡

特産品販売所	420.0㎡
事務室	34.0㎡
コミュニティスペース	102.0㎡
防災備蓄庫	52.7㎡
トイレ	83.3㎡

旧コンポストセンター跡地利活用基本計画イメージ



西側より望む



南側より望む



ところざわサクラタウン側より望む

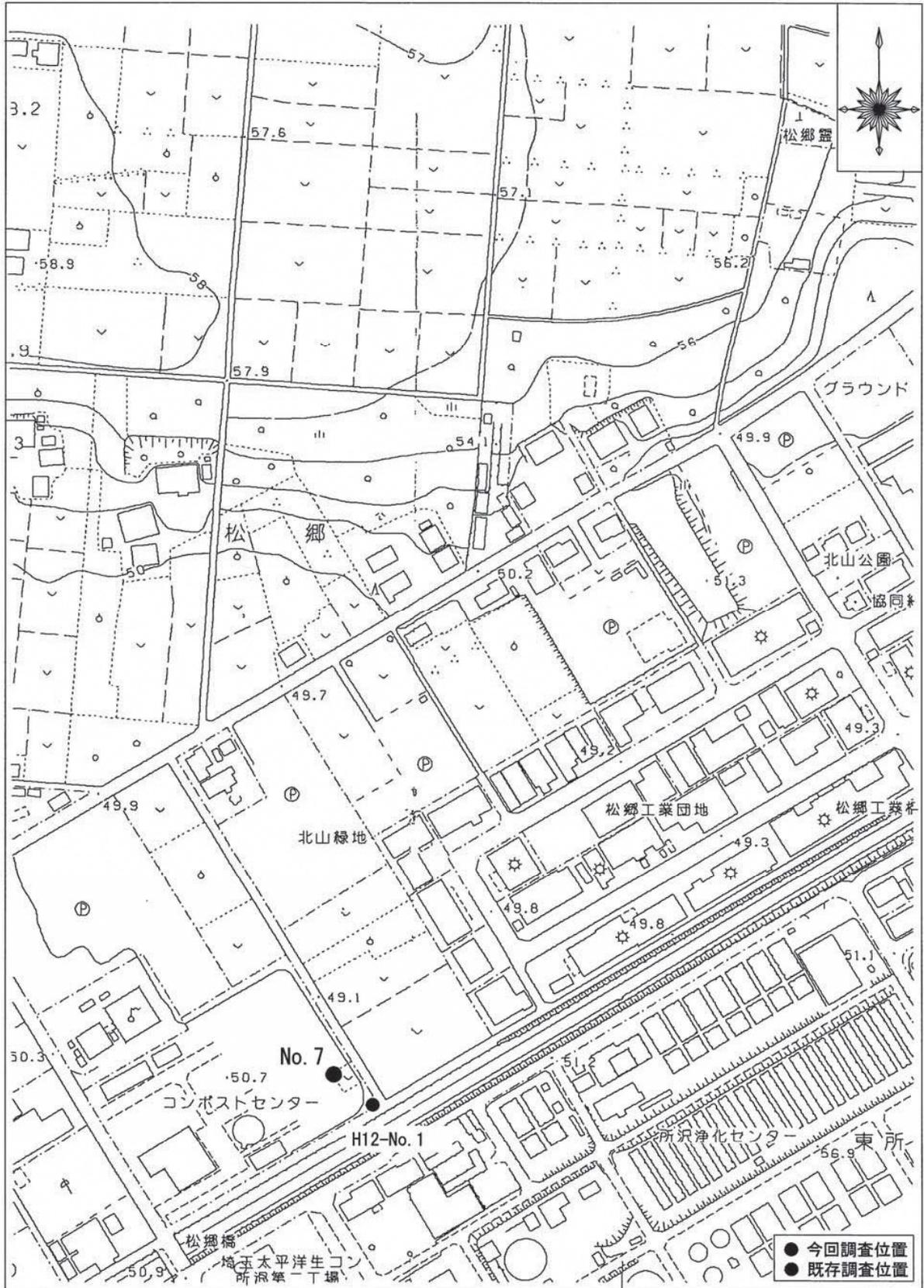


ブリッジより多目的広場を望む



多目的広場活用イメージ

ボーリングデータ



調査位置平面図 (S=1:2, 500)

旧コンポストセンター跡地利活用基本計画

協議用資料

－ 目 次 －

1. 協議の概要	1
2. 計画地の状況	2
3. 計画方針	3
4. 計画平面図	6

平成30年1月

所 沢 市

1. 協議の概要

1-1 協議の目的

旧コンポストセンター跡地の利活用に伴い、前面道路への車両出入口の取付位置に係る計画協議を行うことを目的とする。

1-2 協議箇所

計画地の位置を右に示す。

1-3 旧コンポストセンター跡地の整備概要

所沢市では、旧浄化センター跡地に株式会社KADOKAWAの新しい物流拠点とともに、図書館・美術館・博物館を融合した日本発の施設である「(仮)ところざわサクラタウン：以下サクラタウン」を建設中である。

所沢市旧コンポストセンター跡地の本計画地は、サクラタウンの北側に位置し、当該施設と連携した所沢市の物産PR・販売拠点となるマルシェ、バスターミナル、駐車場を整備することにより、所沢市の魅力の発信拠点とする計画である。



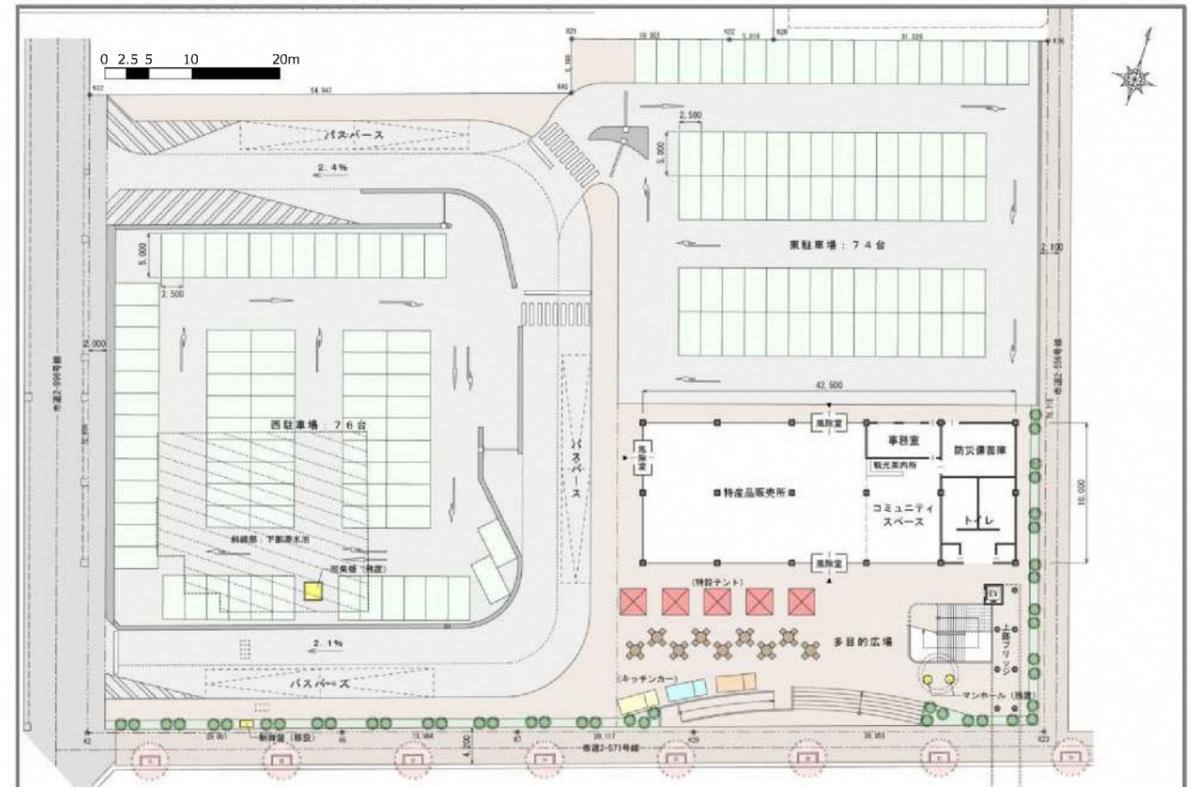
計画地位置図

【整備概要】

所在地：所沢市大字松郷 143-3
敷地面積：8274.71 平方メートル
用途地域：指定なし（市街化調整区域）



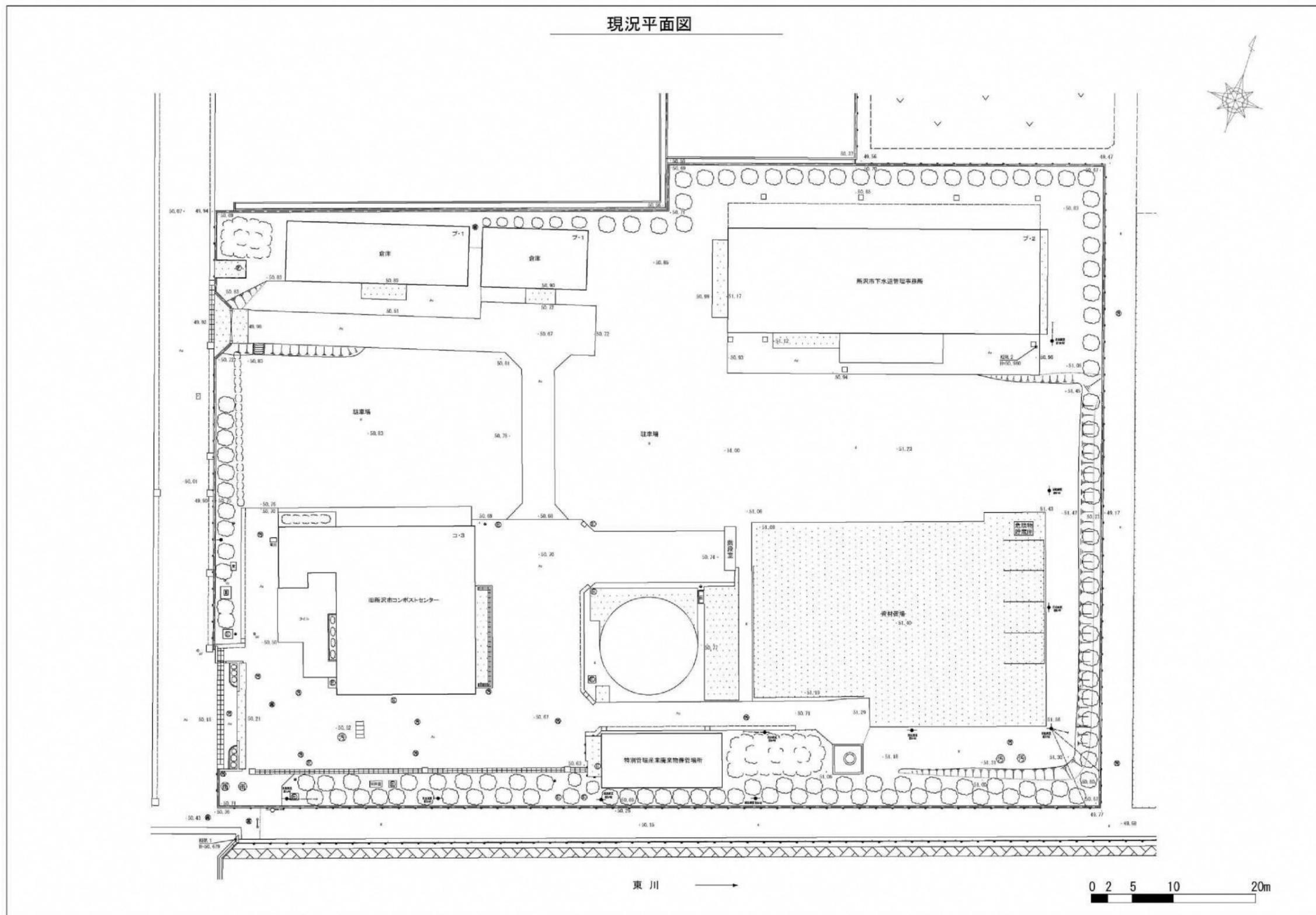
計画地整備イメージ図



計画地整備平面図

2. 計画地の状況

計画地の現在の状況を示す。



3. 計画方針

○自動車・歩行者動線について

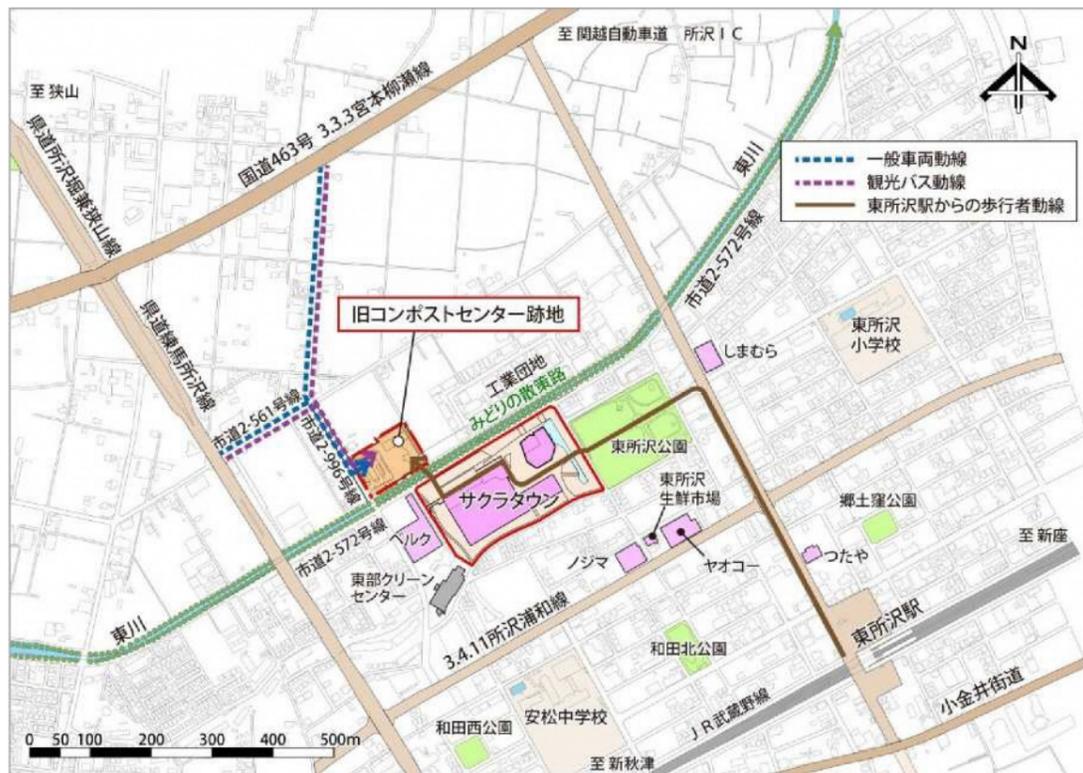
広域の車両動線としては、北部に国道463号、西部に県道練馬所沢線が通っている他、北東部には関越自動車道の所沢ICが位置している。

観光バス及び一般車両は、主に計画区域北側の国道463号線及び西側の県道練馬所沢線からのアクセスを想定する。

歩行者は、主に最寄駅であるJR武蔵野線の東所沢駅（直線距離は約800m）から、現在整備中のサクラタウンを経由するアクセスを想定する。

観光バス、一般車両、歩行者の主要動線を以下に図示する。

■主要自動車・歩行者動線図（広域）



観光バス

観光バスの計画地への出入りは、計画地南側の市道2-572号線と市道2-996号線の交差点への交通負荷を軽減するため、市道2-996号線から左折イン・右折アウトにする計画である。

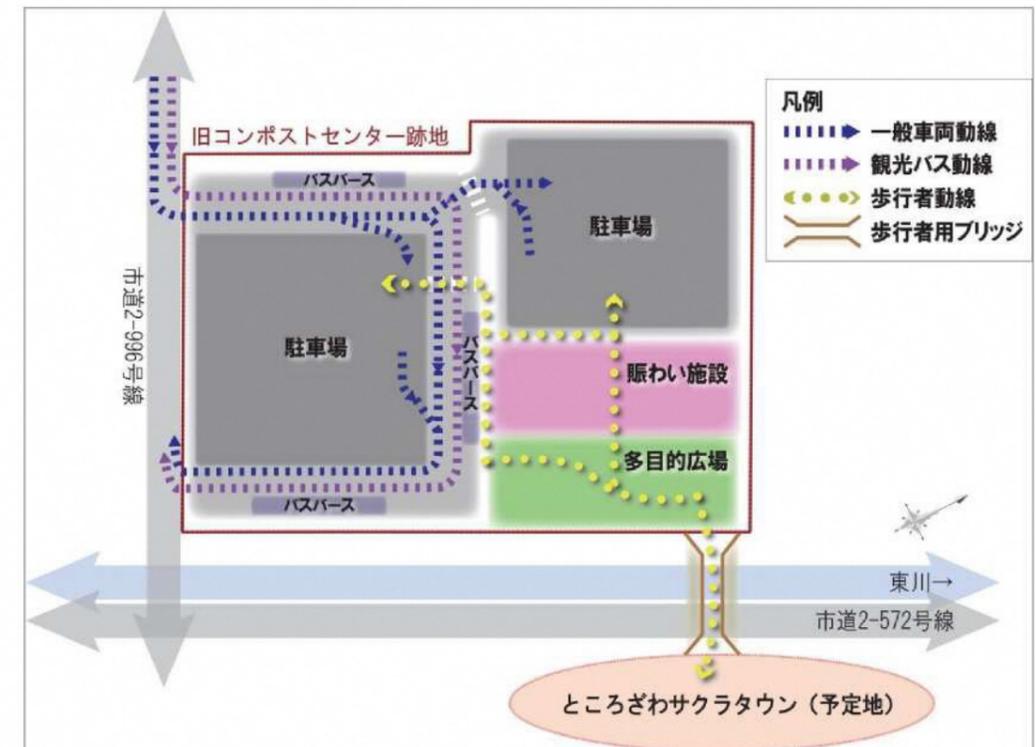
一般車両

一般車両の計画地への出入りは、計画地南側の市道2-572号線と市道2-996号線の交差点への交通負荷を軽減するため、市道2-996号線から左折イン・右折アウトにする計画である。

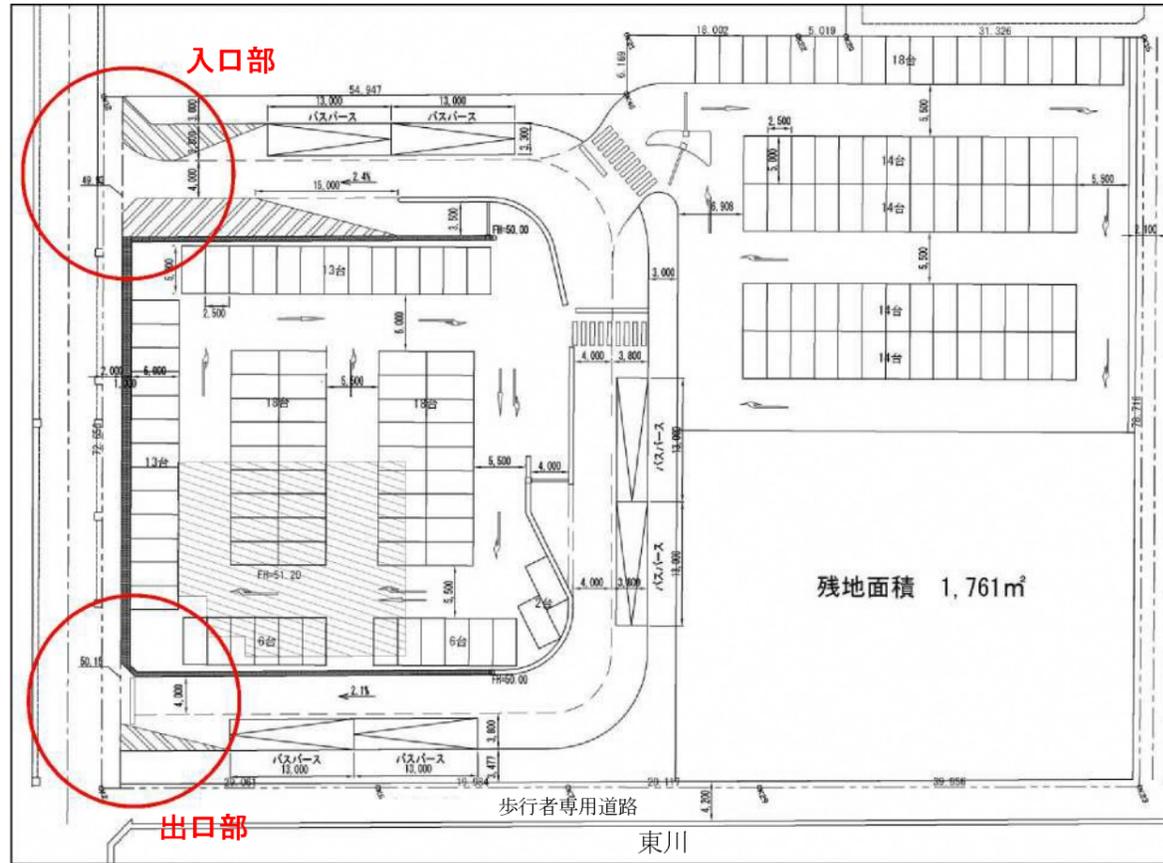
歩行者

歩行者の計画地への出入りは、サクラタウンと計画地との間に市道2-572号線及び東川が位置するため、歩行者用のブリッジ等を整備し、安全かつ円滑な歩行者動線を確保する計画である。

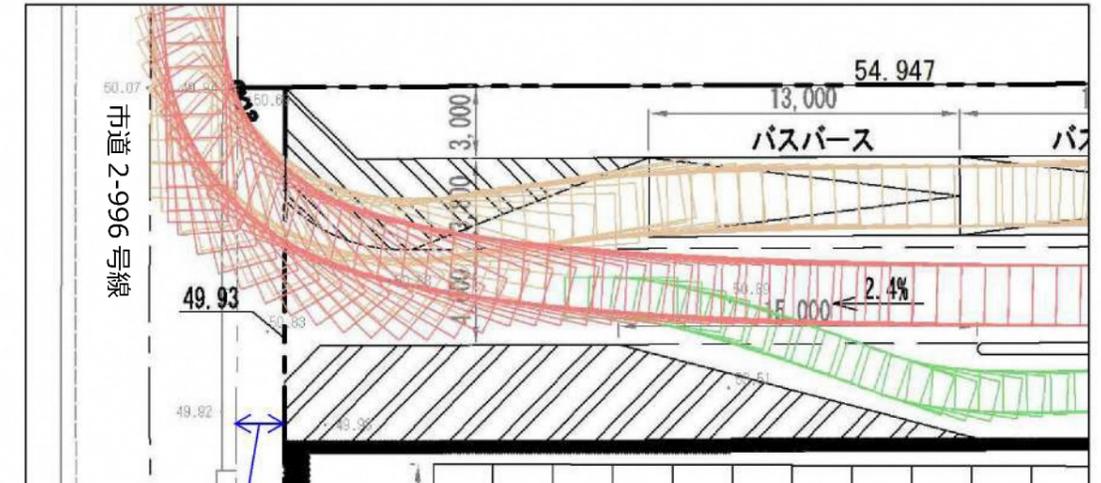
■自動車・歩行者動線図（詳細）



○計画地の入口部と出口部について



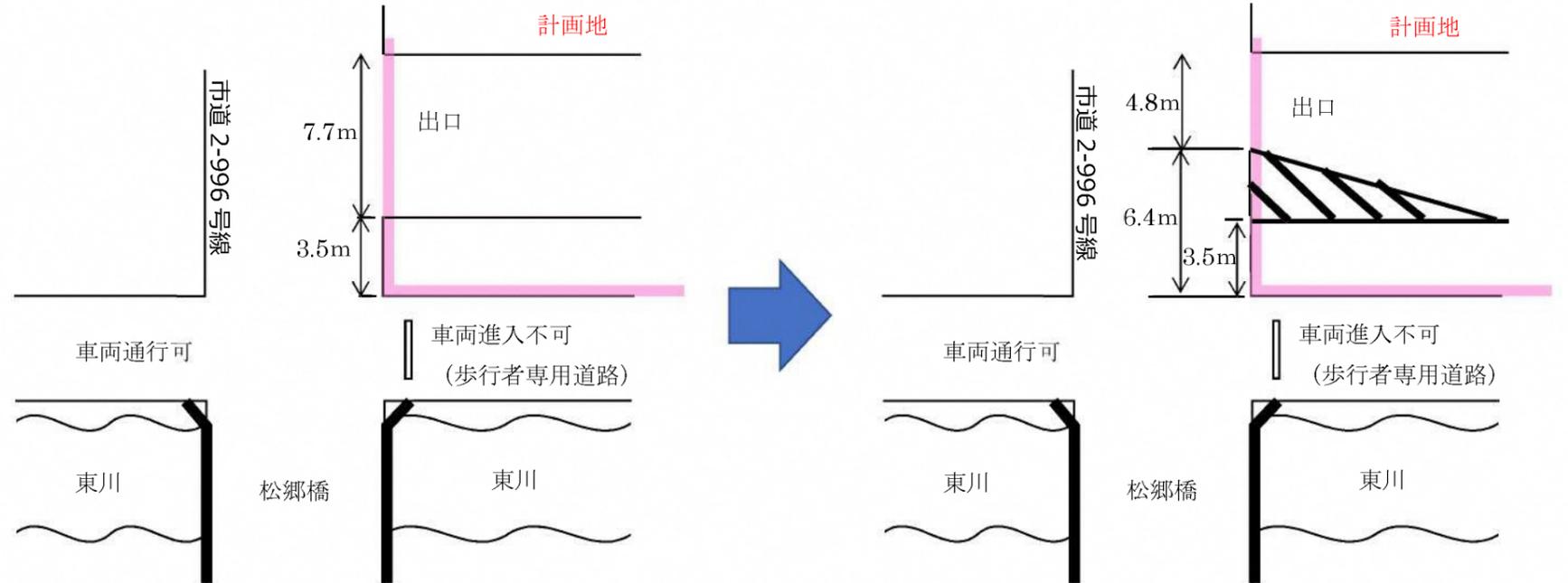
入口部：前面道路が拡幅予定のため、2mセットバックしている。
 入って直ぐにバスパーがあるため、導流帯により一般車両動線の誘導を行う。



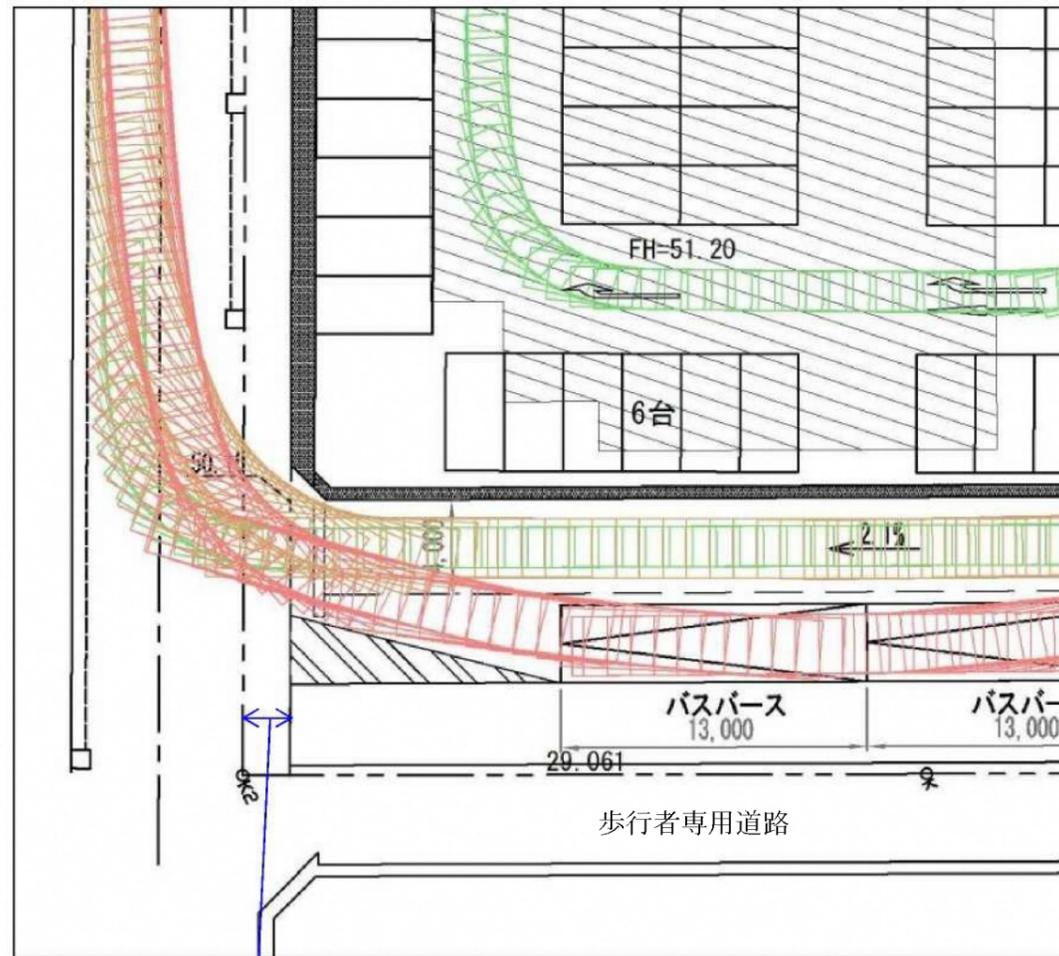
前面道路拡幅予定のため2mセットバック



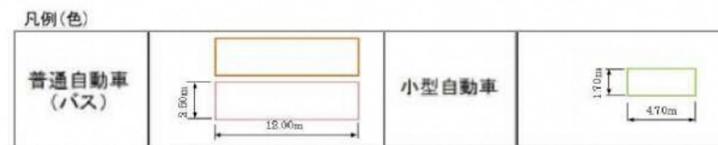
出口部：緊急時の出場車両の追い越しを考慮し、出口部の幅員を広く確保したが、直近の交差点に近接するため、平常時は導流帯により出口部を絞り、交差点からの離隔5m以上を確保した。
 なお、出口部においては、左折側には橋梁及び交差点が近接しているため、右折のみの出場とする計画である。



出口部：前面道路が拡幅予定のため、2mセットバックしている。
 導流帯により出口部を絞り、交差点からの離隔5m以上を確保した。



前面道路拡幅予定のため2mセットバック



○計画地の発生集中交通量について

計画地における発生集中交通量は、商業等施設の延床面積が約 700 m²と小さいが、「大規模開発地区関連交通計画マニュアル改訂版(平成 26 年 6 月)」に準じて算定を行うと次のとおりである。

・商業施設(平日及び休日)の発生集中交通量(三大都市圏郊外部および地方中枢都市)

[算定条件]

商業等施設延床面積：700 m²、 鉄道駅からの距離：800m(東所沢駅からの直線距離)

交通手段分担率：自動車 100%と仮定

※当計画地は道の駅的な機能を果たすことから、交通手段分担率は自動車とバスが大半を占めると想定し、本検討では 100%と仮定した。また、当初はバスの運行が未定であるため、すべて自動車(自家用車)とした場合の自動車発生集中交通量の算定を行う。

自動車台換算係数：1.5 人/台

※休日よりも 1 台あたりの乗車人数が少ない平日の係数を採用し、1.5 人/台とする。(休日の係数はマニュアルに明示されていない。)

ピーク時交通量のピーク率：12%(商業施設の自動車(休日)の標準値)

[平日の発生集中交通量]

平日の発生集中原単位：11,600 × α1 × α2 (単位：人 T.E/ha・日)

ただし、α1(延床面積による割引率)：1.0 (15,000 m²以下の場合)

α2(鉄道駅からの距離による割引率)：0.9 (750m 以上の場合)

よって、平日の発生集中原単位：10,440 人 T.E/ha・日

平日の発生集中交通量：731 人 T.E/日

[休日の発生集中交通量]

休日の発生集中原単位：18,600 × α1 (単位：人 T.E/ha・日)

ただし、α1(延床面積による割引率)：1.0 (15,000 m²以下の場合)

よって、休日の発生集中原単位：18,600 人 T.E/ha・日

休日の発生集中交通量：1,302 人 T.E/日

ここでは、交通量の多くなる休日のピーク時自動車発生集中交通量について算定を行う。

[休日のピーク時自動車発生集中交通量]

休日の発生集中交通量 ÷ 自動車台換算係数 × ピーク率 (単位：台 T.E/時)

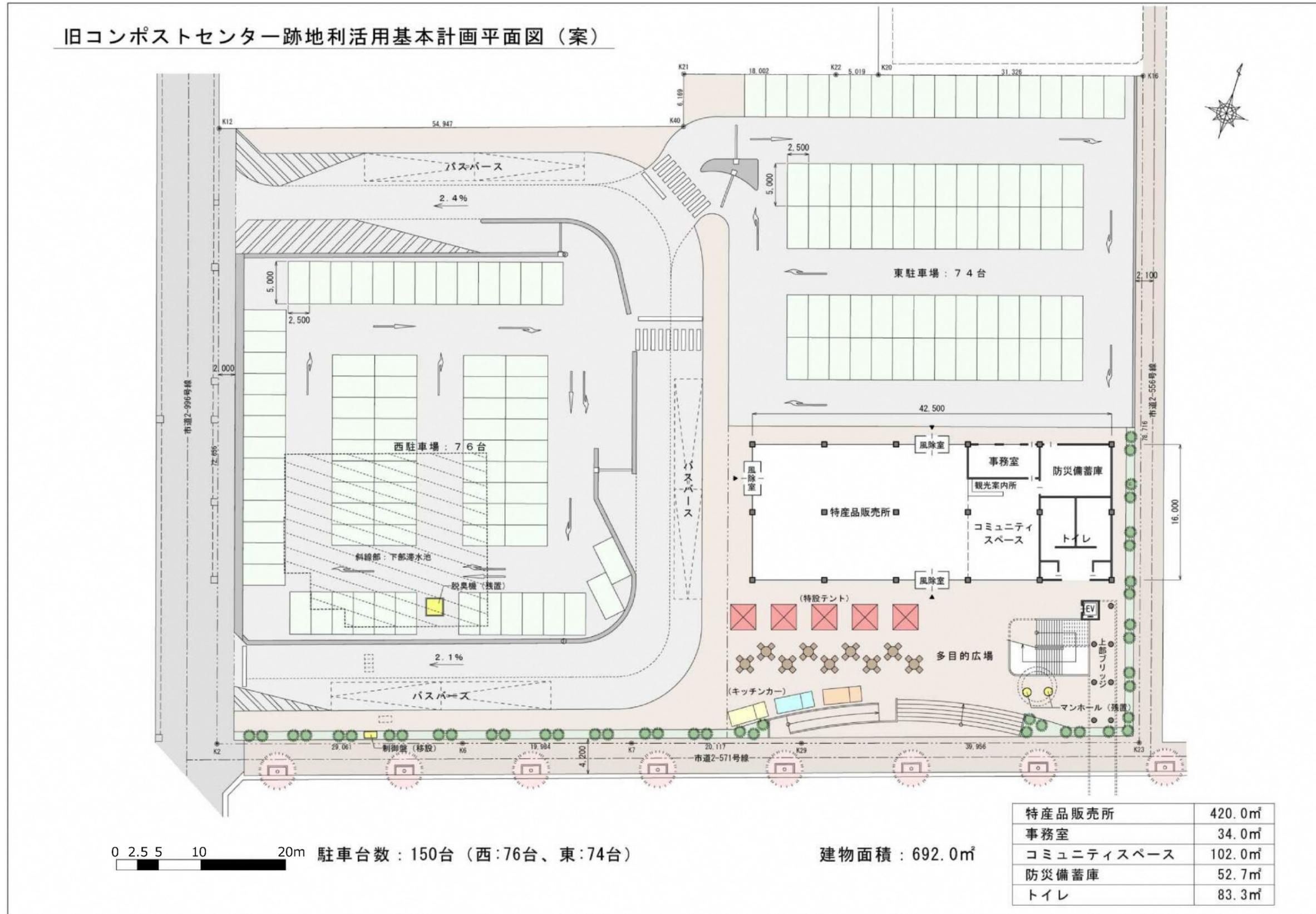
よって、休日のピーク時自動車発生集中交通量：104 台 T.E/時

ピーク時交通量は 104 台 T.E/時となり、現計画の駐車場台数 150 台で満足する結果となる。

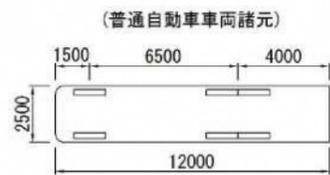
また、この交通量は計画地施設利用者がすべて自家用車で来場した場合を想定したものであり、隣接する各種施設から徒歩で来場する利用者、バスを利用する利用者等を考慮すると、自動車発生集中交通量は減少することになり、現計画の駐車場台数 150 台で対応可能と考えられる。

4. 計画平面図

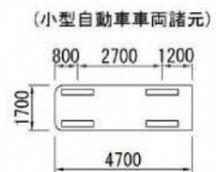
計画方針を踏まえた、計画地及び前面道路の計画平面図を次に示す。



計画平面図



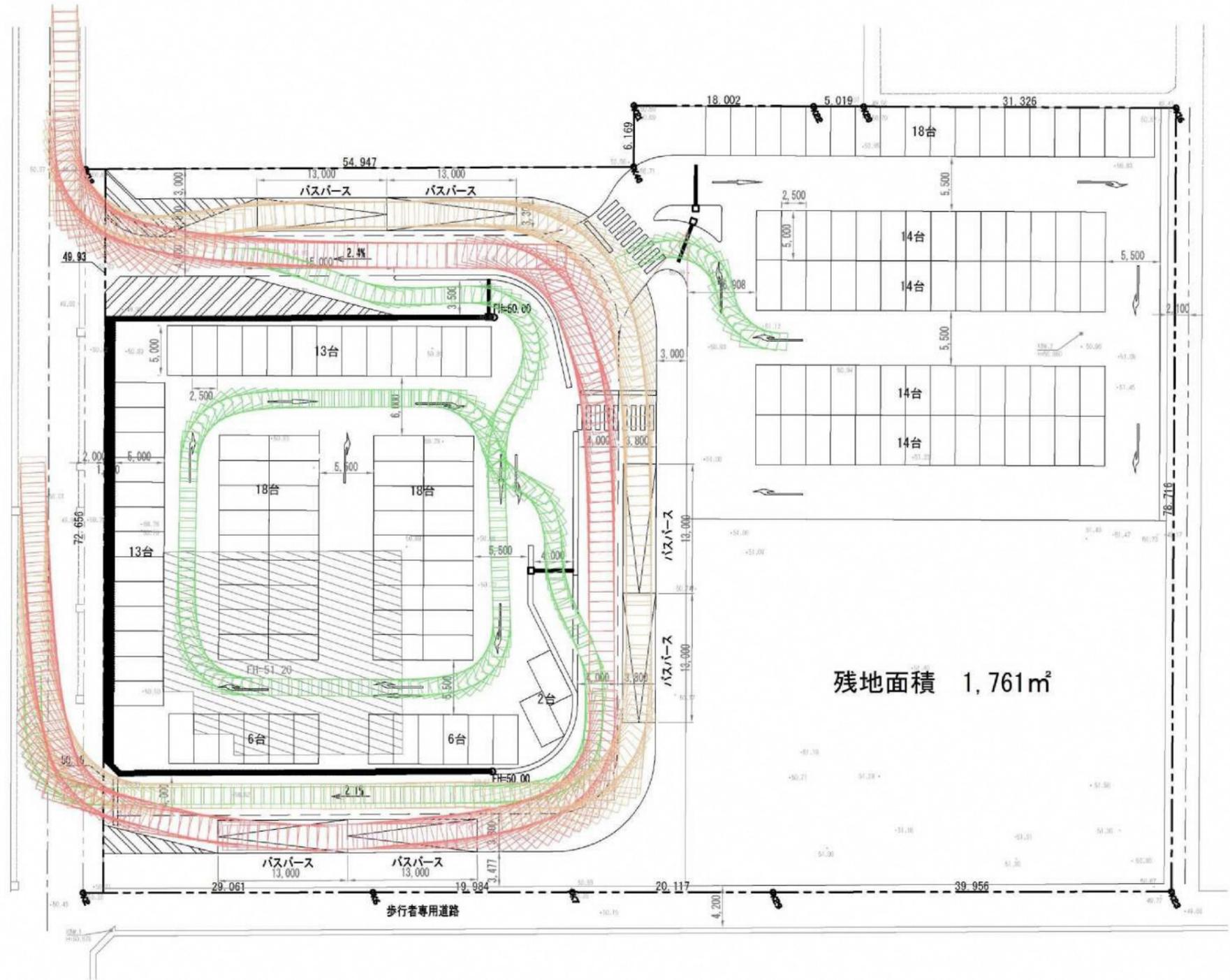
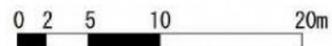
最小回転半径 R=12.0m
ハンドル方法 止りハンドル



最小回転半径 R=7.0m
ハンドル方法 止りハンドル

凡例(色)

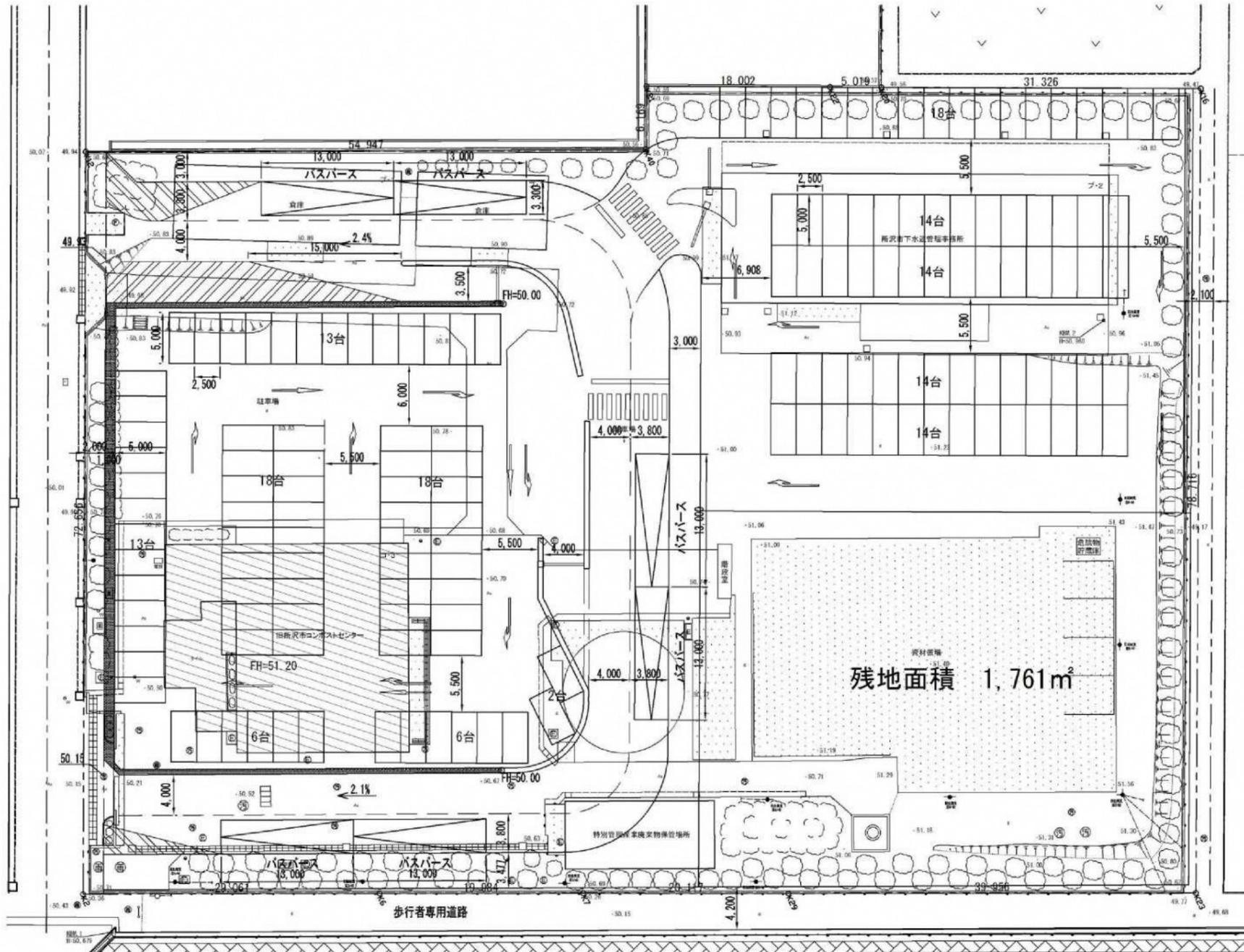
普通自動車 (バス)	
小型自動車	



残地面積 1,761m²

駐車台数150台

計画平面図（現況重ね図）

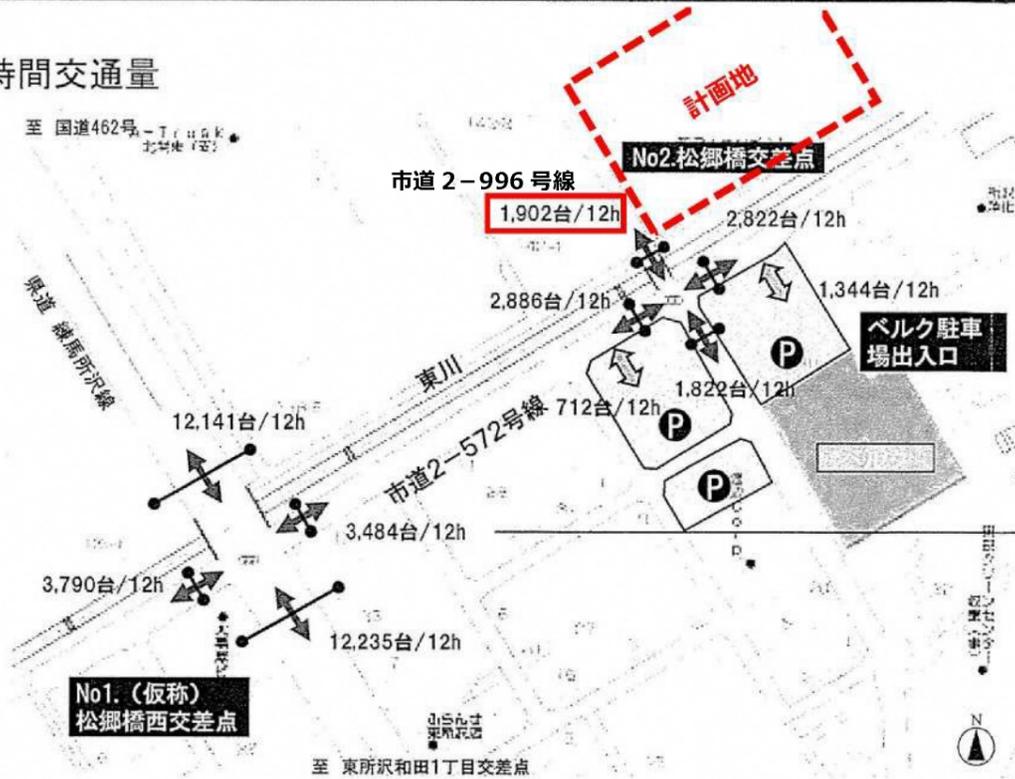


東川 →

(参考) 計画地周辺交通量について (出典: 所沢市道路建設課「市道2-572号線 測量設計業務委託」平成29年3月)

自動車交通量調査結果【平日】平成28年11月9日(水) 7:00~19:00

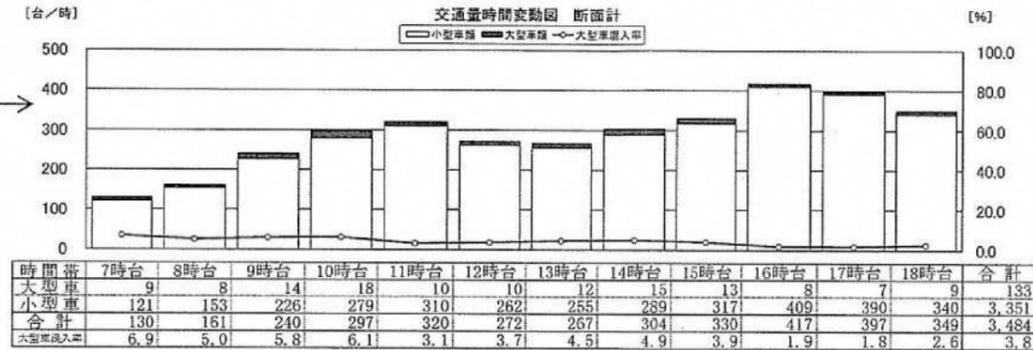
■12時間交通量



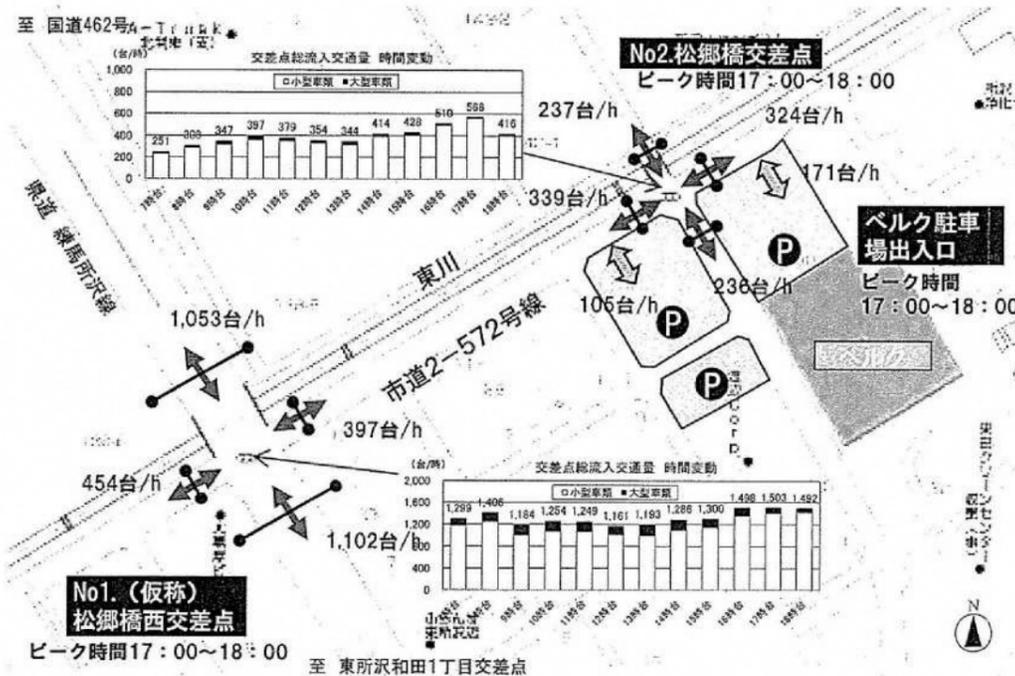
■概況

- 平日における市道2-572号線の断面交通量は、(仮称)松郷橋西交差点側で約3,500台/12h、大型車混入率は3.8%と低い。ピーク時交通量は約400台/h。
- 市道2-872号線からベルク駐車場に出入りする交通量は2箇所の出入口合計で約2,050台/12h。
- 県道練馬所沢線と市道2-572号線の流動は、県道北側と市道2-527号線の流動が多い。

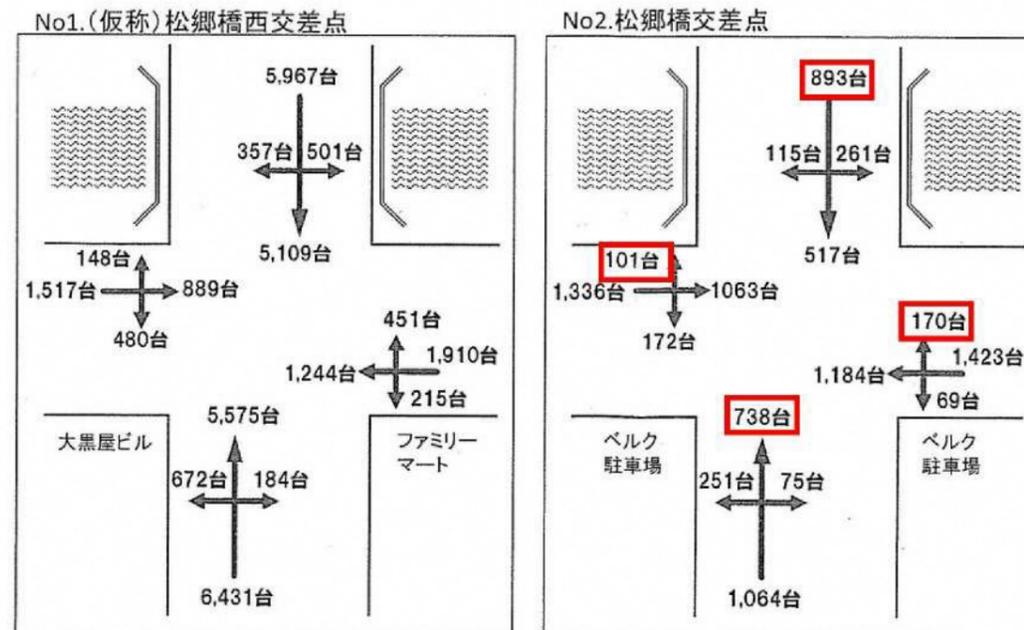
■交通量時間変動 No.1.(仮称)松郷橋西交差点東側断面



■ピーク時間交通量

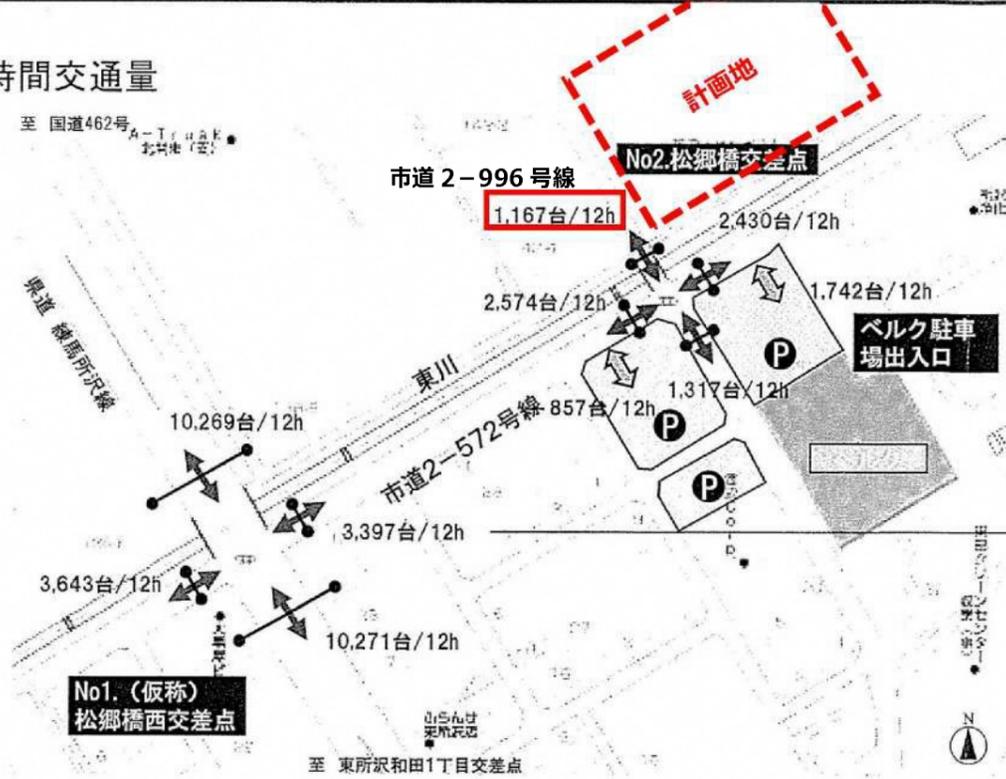


■交差点方向別自動車交通量(12時間)



自動車交通量調査結果【休日】平成28年11月6日(日) 7:00~19:00

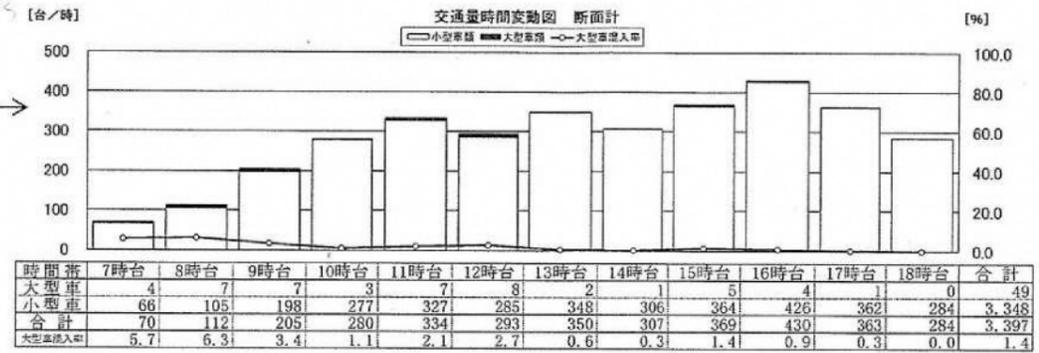
■12時間交通量



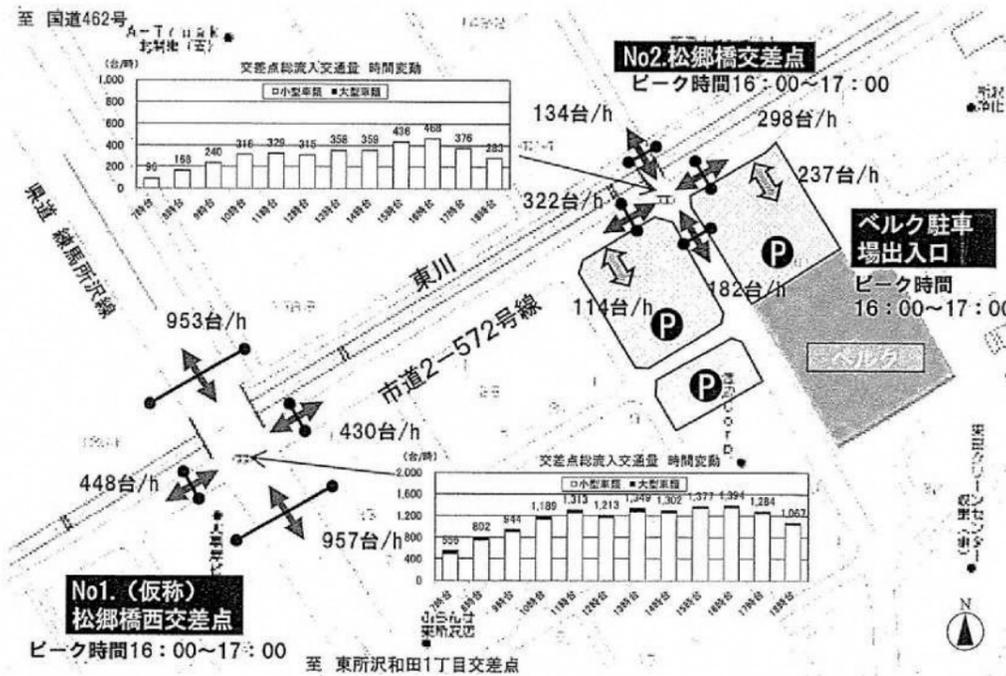
■概況

- 休日における市道2-572号線の断面交通量は、(仮称)松郷橋西交差点側で約3,400台/12h、大型車混入率は1.4%で平日よりもさらに低い。ピーク時交通量は約430台/h。
- 市道2-572号線からベルク駐車場へ出入りする交通量は2箇所の出入口合計で約2,600台/12hで平日の約1.3倍となっている。
- 県道線馬所沢線と市道2-572号線の流動は、平日と同様に県道北側と市道2-527号線の流動が多い。

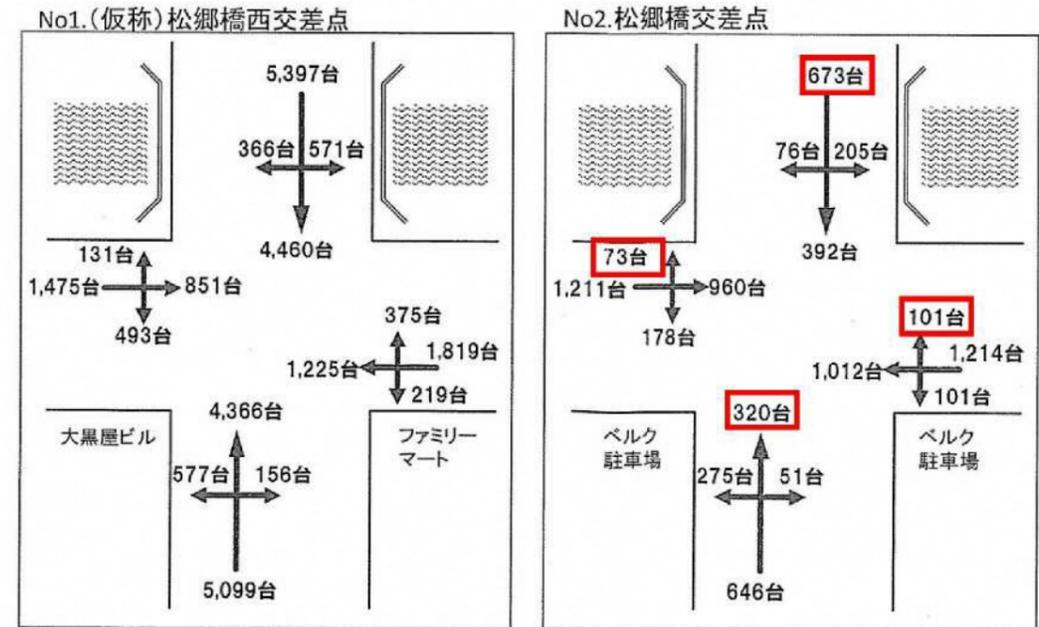
■交通量時間変動 No.1.(仮称)松郷橋西交差点東側断面

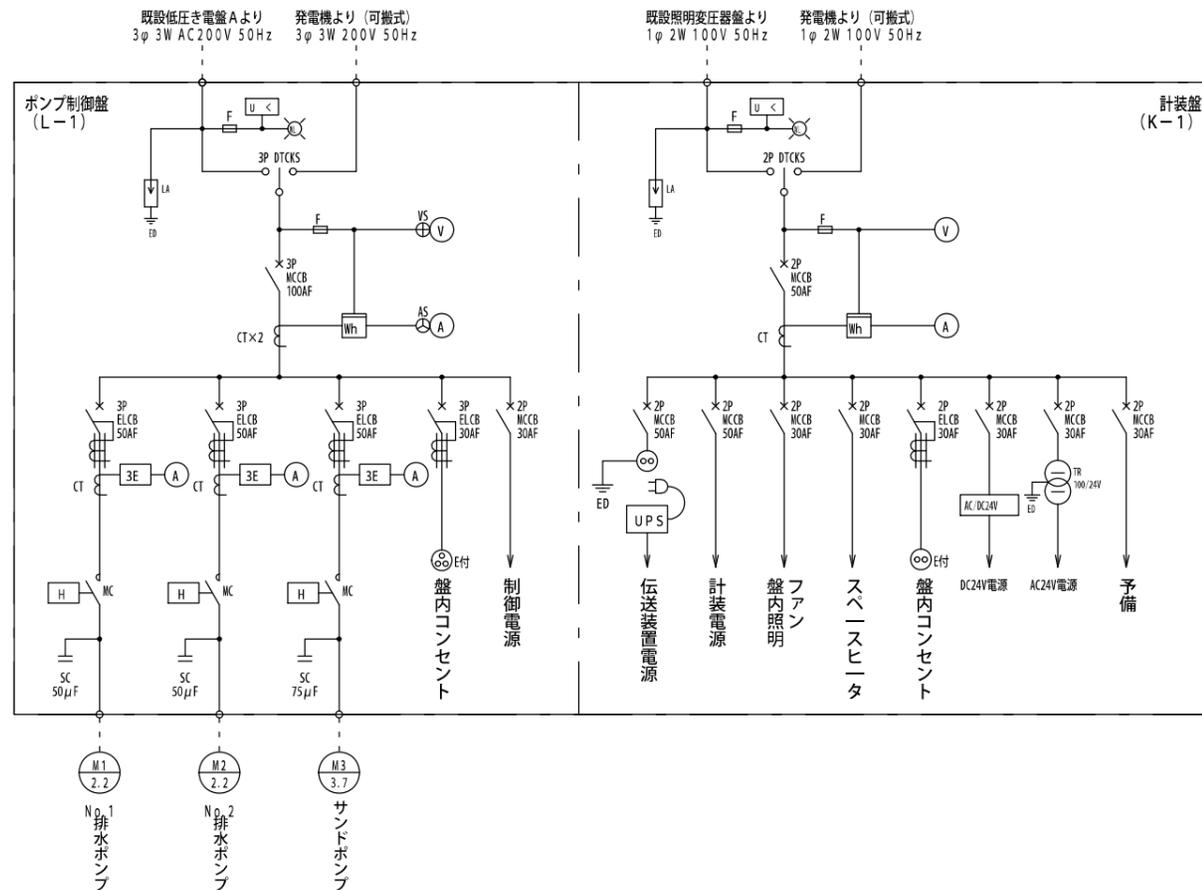


■ピーク時間交通量



■交差点方向別自動車交通量(12時間)

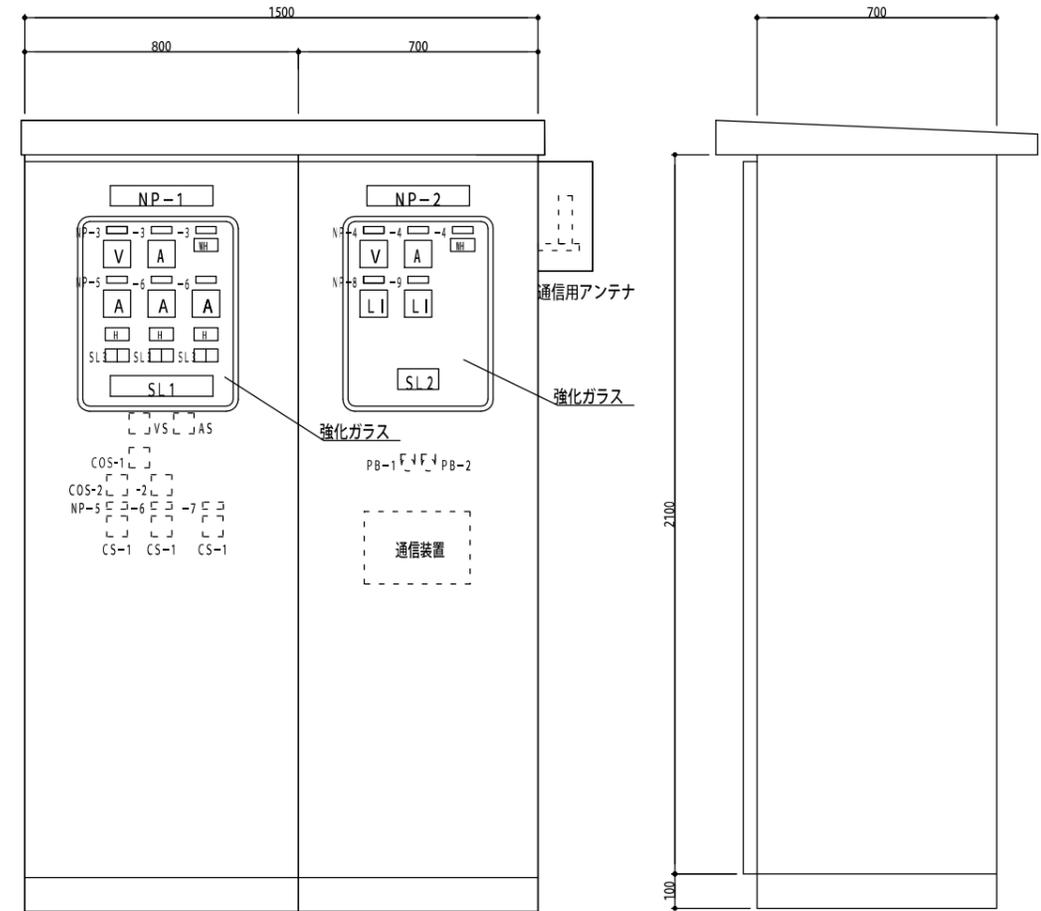




単線結線図

凡例

記号	名称	備考
DTCKS	双投形カバー付ナイフスイッチ	
SC	進相用コンデンサ	
ZCT	零相変流器	
CT	計器用変流器	
F	ヒューズ	
2E	2要素保護継電器	
I>	地路過電流継電器	
ELCB	漏電しゃ断器	
MCCB	配線しゃ断器	
U<	交流不足電圧継電器	
避雷器	避雷器	
V	電圧計	
A	電流計	
WI	電力量計	
H	運転時間計	
LI	水位指示計	



ポンプ制御盤 L-1 計装盤 K-1

正面図 S-1/10

側面図 S-1/10

表示灯詳細

SL1	
200V 電源	100V 電源
1号排水ポンプ 浸水	1号排水ポンプ 3E動作
1号排水ポンプ 地絡	1号排水ポンプ 浸水
2号排水ポンプ 浸水	2号排水ポンプ 3E動作
2号排水ポンプ 地絡	2号排水ポンプ 浸水
盤内コンセント	MCCBトリップ
滞水池水位計異常	滞水池水位計異常

SL2	
滞水池高水位	滞水池排水可能水位
放流先マンホール高水位	放流先マンホール異常高水位
滞水池低水位	予備
放流先マンホール低水位	予備

SL3	
停止	運転

器具名称

記号	記入文字
NP-1	ポンプ制御盤
NP-2	計装盤
NP-3	三相受電
NP-4	単相受電
NP-5	No. 1排水ポンプ
NP-6	No. 2排水ポンプ
NP-7	サンドポンプ
NP-6	滞水池水位
NP-7	放流先MH水位
SL	記名式表示灯
COS-1	現場-中央
COS-2	自動-手動
CS-1	運転操作スイッチ (運転-停止)
PB-1	押釦スイッチ (故障復帰)
PB-2	押釦スイッチ (ランプテスト)

注記

1) 外形寸法及び器具配置は参考とする。

日付		設計事務所	工事名称	設計名称	図面名称	縮尺	図面番号
					既存ポンプ制御盤結線図	NS	